

12月16日 5年生・2年生 小笠原流礼法

両学年とも「戸の開け閉め」について学びました。大切なことを講師から教えていただき、一人ずつ教室の扉でやってみました。後半になるにつれて、少しずつレベルをあげながら取り組みました。どの所作にも相手のことを思いやる行動（動き）になるように、ポイントを教えていただきました。

5年生の様子



- ① ノックは指の関節を使って、3回トントントン
 - ② 戸の溝（取っ手）を近い方の手で少し開ける。
「これから入ります」という意思表示
 - ③ さらに半分くらい開けて、違う手で自分が入れるくらいの幅にもう少し開ける。
 - ④ 「失礼します。」とおじぎ
 - ⑤ 戸の方を向いて、近い手で柱に近くなるまで閉めたら、違う手でゆっくり静かに閉めきる。
- レベルアップ①敷居は踏まない。

②ながら動作はしない。

③柱のある方（下手）の足から入る。



2年生の様子





5年生も2年生も、友達に拍手を送っていました。緊張していた子も友達の拍手で安心した表情になりました。戸（ドア）を開け閉めする場面がいろいろあると思いますが、今日学んだことを活かして行動できるといいですね。